

25日機輸通投第187号
平成25年11月14日

組 合 員 各 位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

《エマージング等市場対策セミナー》
「第3期プーチン政権下のロシアの政治・経済情勢と投資・事業環境」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、当組合では、長年にわたりロシアで調査分析活動に従事されている株式会社 野村総合研究所 モスクワ支店 ロシア代表の大橋 巖氏を講師に迎え、最近のロシアの政治・経済情勢、投資・事業環境、日本企業にとってのロシアビジネスの課題や展望等について報告するセミナーを開催することとなりました。

第3期プーチン政権は、資源・エネルギー輸出に依存した産業構造から脱却して、労働生産性の向上、投資、イノベーションに立脚した経済成長を志向するとともに、インフレの抑制、企業活動に対するインフラ整備やビジネス環境の改善に努めることを表明しています。しかしながら、2013年に入ってから、ロシアの経済成長率は大幅に落ち込み、今後の成長に向けた事業環境・産業構造の改善、新産業の育成は待ったなしの状況になっているように思われます。

この間、今年4月の安部総理の訪露を契機として、日露間では新たなビジネス交流、事業開発の機運が高まっています。イノベーション、インフラ整備、投資活性化といったロシアが現在直面する課題の解決に向け、日本側が協力することで、ビジネスチャンスが大きく広がっていくと思われます。さらには、極東開発に向けてのロシア政府の新たな動向も注目されます。

そこで、本セミナーでは、このような点を踏まえながら、日本企業としてのロシアビジネスへの対応のあり方についてお話しを伺います。

組合員各位におかれては、ぜひこの機会をご利用いただき、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

◆日 時 : 平成25年12月 4日(水) 14:00~16:30 (開場13:30)

◆場 所 : 機械振興会館6階 会議室6D-1・6D-2 (定員80名)
(東京都港区芝公園3-5-8)

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

◆テーマおよび講演内容

「第3期プーチン政権下のロシアの政治・経済情勢と投資・事業環境」

1. 足もとの経済ビジネス情勢～低成長に陥ったロシア経済
2. 今後の情勢見通し～下方修正相次ぐ政府見通しをどう見るか
3. 第3期プーチン政権の抱える課題と政策路線
4. 地域開発・都市整備・インフラ整備の課題と事業機会
5. これからの日本企業のロシア事業展開

◆講師：株式会社 野村総合研究所 モスクワ支店
ロシア代表 大橋 巖（おおはし いわお）氏

【講師略歴】

上智大学外国語学部卒。ジェットロ勤務（調査部門）を経て2008年から野村総合研究所へ。
ロシア（ソ連）調査暦29年。うちモスクワ駐在経験は1991～98年、2001～08年、09年～12年と延べ18年に及ぶ。

ウィーン比較経済研究所（現・ウィーン国際経済研究所）客員研究員（1988～89年）、
明治学院大学非常勤講師（1999～2000年度）。

在モスクワ・ジャパクラブ副会長（2007年度）。

ロシア連邦地方発展省企業城下町対策専門家会議メンバー（2010年）。

経済団体「実業ロシア」経済戦略提言専門家会議メンバー（2011年）。

野村総合研究所は2008年にモスクワ支店を開設。日本企業のロシア事業戦略に関するリサーチ・コンサルティングのほか、ロシアの経済特区などインフラ整備コンセプトや都市・地域開発戦略などのプロジェクト受注で実績を重ねている。

◆参加費：無料（組合員限定）

※受講券の発行はございません。

※セミナー当日は、受付にお名刺をお渡し下さるようお願いいたします。

◆お申込み方法

セミナー参加ご希望の方は、11月29日（金）までに、当組合ホームページからお申込みください。定員となり次第、締切りを繰り上げる場合がございます。

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm>

◆キャンセル方法

11月29日（金）までに、下記事務局までご連絡ください。

◆お問い合わせ先

日本機械輸出組合 通商・投資グループ 庫元（くらもと）、長岡

TEL：03-3431-9348 FAX：03-3436-6455 <mailto:tohshi@jmcti.or.jp>

以上